

公社等外郭団体に関する情報公開

団体名	公益財団法人ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉	県所管課	県民生活・文化課
代表者	理事長 小川 延英	電 話	043-223-2408
所在地	千葉市中央区市場町11番2号(千葉県文化会館内)		
電 話	043-222-4231		
設立年月日	昭和60年4月16日		
ホームページ アドレス	<a href="http://npoc.info">http://npoc.info</a>		
事業内容	①演奏会の開催 ②音楽鑑賞教室の開催 ③音楽に関する講座の開催 ④その他、法人の目的を達成するために必要な事業		

1 出資等の状況(H26.4.1現在)

(単位:千円,位)

資本金(又は出捐金)	65,300
------------	--------

出資(出捐)者	出資(出捐)額	出資(出捐)割合	出資(出捐)順位	備考
千葉県	25,000	38.3%	1	
太陽堂印刷	11,000	16.8%	2	
千葉銀行	4,000	6.1%	3	
千葉市	1,500	2.3%	4	
船橋市	1,500	2.3%	4	
千葉興業銀行	1,500	2.3%	4	
東京電力千葉支店	1,500	2.3%	4	
東京ガス千葉支店	1,500	2.3%	4	
市川市	1,000	1.5%	9	
松戸市他12者	16,800	25.7%		

2 社員(会員)の状況(社団法人のみ)(H26.4.1現在)

社員総数	
------	--

区 分		社員数	主な者
内 訳	地方公共 団体		
	県		
	市町村		
	国又は政府系機関		
	民間法人		
その他			

### 3 財務状況

#### (1)貸借対照表から

項 目	23年度	24年度		25年度
		特例民法法人 (H24.4.1~9.30)	公益財団法人 (H24.10.1~H25.3.31)	
総資産	88,821	90,094	75,100	80,040
負 債	26,928	27,504	10,888	7,549
(うち有利子負債)	10,000	0	0	0
純資産	61,893	62,590	64,212	72,491
累 積 損 益(利益剰余金)	△ 3,407	△ 2,710	△ 1,088	7,191

#### (2)損益計算書から

項 目	23年度	24年度		25年度
		特例民法法人 (H24.4.1~9.30)	公益財団法人 (H24.10.1~H25.3.31)	
総 収 入 (＝売上高＋営業外収益＋特別利益)	170,017	60,601	93,446	179,228
経 常 損 益	3,096	697	1,622	8,279
当 期 損 益	3,096	697	1,622	8,279
減価償却前当期損益	3,286	785	1,709	8,321

#### 4 年度末借入金残高等の状況

項 目	23年度	24年度		25年度
		特例民法法人 (H24.4.1~9.30)	公益財団法人 (H24.10.1~H25.3.31)	
借 入 金 残 高	10,000	1,100	0	0
うち県からの借入金残高	0	0	0	0
うち県以外からの借入金残高	10,000	1,100	0	0
うち県の債務保証又は損失補償の対象となる借入金残高	0	0	0	0

※一般社団・財団法人及び公益社団・財団法人(特例法人(従来の公益法人)含む。)については、次のとおり公益法人会計基準に読み替える。

〈貸借対照表〉 純資産⇒正味財産合計

利益剰余金⇒一般正味財産

〈損益計算書〉 損益計算書⇒正味財産増減計算書

総収入(＝売上高＋営業外収益＋特別利益)⇒総収入(＝経常収益＋経常外収益  
＋当期指定正味財産増加額)

経常損益⇒当期経常増減額

当期損益⇒当期一般正味財産増減額

※累積損益(利益剰余金)については、基本金又は基本財産に相当するものを除いたものとなる。

## 5 県の財政支出の状況

### (1) 委託料・補助金等

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	23年度	24年度	25年度
委託料	特別支援学校巡回コンサート 器楽体験講座	10,560	10,560	10,560
補助金・交付金・ 負担金	音楽鑑賞教室事業負担金 県民芸術劇場事業負担金 運営費補助	51,581	47,822	54,616
合計		62,141	58,382	65,176

### (2) その他

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	23年度	24年度	25年度
利子補給		0	0	0
税の減免額		0	0	0
出資金		0	0	0
貸付金		0	0	0
上記以外のもの		0	0	0
合計		0	0	0

### (3) 委託料のうち再委託に関するもの

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	23年度	24年度	25年度
委託料のうち再委 託したもの		0	0	0
再委託のうち入札 によるもの		0	0	0
再委託のうち随意 契約によるもの		0	0	0

6 役職員の状況(各年度7月1日現在)

(1) 役職員数

(単位:人)

項目	24年度	25年度	26年度
常勤役員数	1	1	1
うち県退職者	1	1	1
うち県派遣職員	0	0	0
常勤職員数	16	16	16
うち県退職者	0	0	0
うち県派遣職員	0	0	0

(2) 役職員の平均年収等の状況

項目	24年度	25年度	26年度
役員数(県派遣又は県OB)	1人(1人)	1人(1人)	1人(1人)
役員平均年齢	*	*	*
平均年収(千円)	*	*	*
職員数(県派遣又は県OB)	16人(0人)	16人(0人)	16人(0人)
職員平均年齢	47歳	48歳	51歳
平均年収(千円)	3,308千円	3,217千円	3,247千円

① 対象は常勤の役職員です。(嘱託職員、日々雇用職員は除く。)

② 役職員数は実人員を記入してください。

③ 平均年収は、役員報酬や給料等総人件費を実人員で除して算出すること。

※実人員の考え方

・4月に役員が4人いて、年度途中で2人交替し、年度末に4人であった場合の実人員は4人

・4月に役員が5人いて、10月から1人減り、年度末に4人であった場合の実人員は4.5人

※平成26年度の平均年収については推計となる。

7 改革方針の取組状況

改革方針(区分)	関与縮小
改革方針(概要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期的な計画として、良質な音楽文化の振興を図るため、県内各地における音楽鑑賞機会の提供、中核的な人材の育成、評価制度の継続、県内各地でチケット販売等を行うサポーターの組織づくり等を実施する。</li> <li>・短期的には、25年度末までに、県依存型の経営から自立型経営への転換を目指すこととし、安定的な運営を可能にするよう収入の増加を図りつつ、支出の削減を図る。</li> </ul>
取組状況	<p>自立型経営を目指して、(財)ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉再構築計画第Ⅱ期(H23～H25)に基づき、下記のとおり経営改革に取り組んだ。こうした取組の結果、平成25年度末には、累積負債解消に至った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を拡大するため、出損市町村を中心に営業活動を行った。</li> <li>・サントリー音楽復興祈念賞による補助金を獲得し、旭市において地元の合唱団と旭市復興支援コンサートを開催し、音楽文化の振興を図った。</li> <li>・県外公演(東京都品川区)を実施した。</li> <li>・県民だより、ラジオ番組等マスコミを利用した広報、また、初の試みである映画音楽録音事業(全国公開)を行った。</li> <li>・楽団員のオーディションを実施し、9月に2名、2月に1名、計3名を採用した。</li> <li>・寄附金控除等の公益財団法人の特色を活かし、寄附金による支援者の拡大を図った。</li> </ul>
その他(特記事項等)	

\* 平成24年3月に千葉県行政改革推進本部で決定した改革方針とその取組状況を記載してください。